

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 17

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	防犯カメラ設置事業(すこやかセンター)	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心-生活の安全・安心を確保する-災害に強いまちをつくる-危機管理対策の推進					▼
対象	市民					
手段(方法)	赤穂すこやかセンターに防犯カメラを設置する。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	防犯対策の一つとして、犯罪行為の抑止を目的に設置する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	R1	年度	～	R1	年度	
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績			達成状況		%
	30年度実績			達成状況		%
	元年度計画	防犯カメラの設置 2台		達成状況	-	%
	元年度実績	防犯カメラの設置 2台		達成状況	100	%
	2年度計画			達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
防犯カメラ設置				2台	2台	
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
				204,600	204,600	
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源			204,600	204,600	
直接事業費総額		0	0	204,600	204,600	0
人件費:人日数	一般職員:人日数			2	2	
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		0	0	38,000	38,000	0
総事業費計		0	0	242,600	242,600	0
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	—				
	元年度予算と2年度予算の比較	—				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価 (CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	
次年度予算への見直し方針	
関連部課等との協議状況	
関連部課	危機管理担当
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="終了"/>

5 二次評価 課長の評価 (CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="終了"/>
	<input type="text" value="2年度の取り組み方針"/> <input type="text" value="3年度以降の展開方針"/>
部長の確認所見	終了

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 190

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	健康相談事業	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心-保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-指導・啓発事業の推進					▼
対象	市民					
手段(方法)	保健師・栄養士による健康相談に加え、各地区に健康相談員を設置し、地区公民館で定期的に市民の健康相談や電話等による随時健康相談を行い、市民の健康保持・増進を図っている。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(わらい)	専門職に健康に関する相談を行い、健康管理の意識を高め、市民の健康の保持・増進を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	健康増進法					
その他実施の根拠						
始期・終期	S59 年度 ~ 年度					
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	今年度相談件数=前年度相談件数×105%					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	12,004		達成状況	81.7 %	
	30年度実績	11,600		達成状況	90.9 %	
	元年度計画	12,230		達成状況	- %	
	元年度実績	11,301		達成状況	92.4 %	
	2年度計画	11,866		達成状況	- %	

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
健康相談員相談(件)		2,297	2,201	2,300	2,212	2,300
地区別健康相談(件)		1,857	1,950	1,880	1,024	1,200
保健師健康相談(件)		229	299	350	317	350
保健師・栄養士健康相談(件)		7,621	7,150	7,700	6,881	7,000
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
健康相談員活動		3,399,862	3,381,188	3,810,000	3,363,418	3,600,000
財源内訳	国県支出金	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	3,229,862	3,211,188	3,640,000	3,193,418	3,430,000
直接事業費総額		3,399,862	3,381,188	3,810,000	3,363,418	3,600,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	44	44	44	44	44
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		836,000	836,000	836,000	836,000	836,000
総事業費計		4,235,862	4,217,188	4,646,000	4,199,418	4,436,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	増減なし				
	元年度予算と2年度予算の比較	報償費の減による事業費の減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	健康相談員が高齢化し、現在の相談員に代わる人材もない状況である。
市民のニーズ・満足度	年々、健康相談実績は増加しており、また健康相談員による地区別健康相談は、地域に身近で市民が参加しやすい仕組みとして、市民の健康づくりに役立っていると考えられる。
連携事業 関連事業	健康情報提供
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="5"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input checked="" type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	年々、健康相談実績は増加しており、また健康相談員による地区別健康相談は、地域に身近で市民が参加しやすい仕組みとして、市民の健康づくりに役立っていると考えられる。今後の人材確保が課題である。
次年度予算への見直し方針	
関連部課等との協議状況	
関連部課	子育て支援課、医療介護課、地域包括支援センター
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	健康相談員の質的向上を図りながら、地域における健康づくりを促進する。

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 継続して実施する。
	3年度以降の展開方針 継続して実施する。
部長の確認所見	計画的に健康相談員の確保を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 191

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	健康情報提供事業		担当部署	健康福祉部保健センター		
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-指導・啓発事業の推進					▼
対象	市民					
手段(方法)	広報あこうにおける「健康特集号」の発行、健康づくりDVD貸出及び管理、自動血圧計の設置及び管理、健康カレンダーの作成					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	健康に関する情報や機材を提供し、生活習慣病の予防や正しい健康づくりの知識を提供する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	健康増進法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	健康DVD等貸出＝前年度×105%					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	12本		達成状況	60	%
	30年度実績	9本		達成状況	45	%
	元年度計画	20本		達成状況	-	%
	元年度実績	22本		達成状況	100	%
	2年度計画	20本		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
自動血圧計設置数		13	13	13	13	13
健康DVD等貸出本数		12	20	20	22	20
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		392,669	208,647	1,340,000	1,305,500	340,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	392,669	208,647	1,340,000	1,305,500	340,000
直接事業費総額		392,669	208,647	1,340,000	1,305,500	340,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	14	14	14	25	14
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	6	6	6		
人件費総額		306,200	306,800	307,400	475,000	266,000
総事業費計		698,869	515,447	1,647,400	1,780,500	606,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	健康カレンダー作成費による事業費の増(H30年度まで国保医療係で予算計上)				
	元年度予算と2年度予算の比較	健康カレンダー作成廃止による事業費の減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	
市民のニーズ・満足度	
連携事業	健康相談
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	
次年度予算への見直し方針	自動血圧計の更新を計画的に測る必要がある。
関連部課等との協議状況	
関連部課	子育て支援課、医療介護課、地域包括支援センター
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	市民に対し、適宜、適切な健康情報を引き続き提供する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 健康カレンダー作成の廃止
	3年度以降の展開方針 継続して実施する。
部長の確認所見	継続して実施する。

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	実施団体を増やすことが課題である。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	健康相談、健康情報提供、生活習慣病健診、あこが食育推進事業
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="5"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input checked="" type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value=""/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	対象層を変えた団体の参加がみられた。
次年度予算への見直し方針	事業実施方法の検討
関連部課等との協議状況	
関連部課	地域包括支援センター
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="7"/> 廃止 <input type="button" value="▼"/>
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="7"/> 廃止 <input type="button" value="▼"/>
	2年度の取り組み方針
	3年度以降の展開方針
部長の確認所見	事業の廃止

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 193

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	楽らく健康教室		担当部署	健康福祉部保健センター		
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-指導・啓発事業の推進					▼
対象	40歳以上の者・特定保健指導対象者					
手段(方法)	健康チェック、運動指導、健康教育					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	成人を対象に、生活習慣病予防に特化した内容とする。また、特定保健指導対象者のフォローとして、運動指導を充実した内容で行う。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	健康増進法					
その他実施の根拠						
始期・終期	H29	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	延参加人数2,524人			達成状況	90.1 %
	30年度実績	延参加人数2,317人			達成状況	85.8 %
	元年度計画	延参加人数2,500人			達成状況	- %
	元年度実績	延参加人数2,306人			達成状況	92.2 %
	2年度計画	延参加人数2,500人			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
実施会場数		9	9	9	9	9
実施回数		106	108	108	99	108
延参加人数		2,524	2,317	2,500	2,306	2,500
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		999,090	979,248	1,032,000	915,485	860,000
財源内訳	国県支出金	174,000	174,000	260,000	260,000	404,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	825,090	805,248	772,000	655,485	456,000
直接事業費総額		999,090	979,248	1,032,000	915,485	860,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	24	24	24		
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		456,000	456,000	456,000	0	0
総事業費計		1,455,090	1,435,248	1,488,000	915,485	860,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	増減なし				
	元年度予算と2年度予算の比較	報償費の減による事業費の減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	参加者の固定化。健康無関心層への働きかけ。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	生活習慣病健診、特定保健指導
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="5"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input checked="" type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="92.2"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	一定の参加人数は得られているが、引き続き参加の周知・アプローチを強化したい。
次年度予算への見直し方針	対象者の拡充
関連部課等との協議状況	
関連部課	社会福祉課いきがい福祉係・地域包括支援センター
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	対象者の拡充。保健事業と介護予防の一体的実施。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 対象者の拡充。保健事業と介護予防の一体的実施。 3年度以降の展開方針 高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業との連携
部長の確認所見	同様の健康教室等との連携・統合を検討する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 194

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	西播磨病院群輪番制運営委託事業	担当部署	健康福祉部保健センター
総合計画上の位置付け	安心-保健・医療サービスを充実する-安心できる地域医療体制をつくる-地域医療体制の充実 ▼		
対象	第二次救急医療が必要な市民		
手段(方法)	赤穂市医師会に一般急患及び小児急患の第二次救急診療体制の運営を委託し、輪番制度を構築。(輪番制病院群の事業区域は西播磨(西播磨圏域):赤穂市・相生市・上郡町、小児輪番制は西播磨圏域)		
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	地域住民の健康保持、地域の健康水準の向上を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	救急医療対策実施要項(厚生労働省)		
その他実施の根拠			
始期・終期	H8 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	輪番制医療群・小児科輪番制とも実施回数をすべての昼間と夜間に実施する。病院輪番=当番日数/(夜間365日+昼間365日)		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	病院群輪番制431日(夜間360日、休日昼間71日)、小児科輪番制158日(夜間100日、日曜昼間58日)	達成状況 98.6 %
	30年度実績	病院群輪番制426日(夜間354日、休日昼間72日)、小児科輪番制159日(夜間100日、日曜昼間59日)	達成状況 97.4 %
	元年度計画	病院群輪番制442日(夜間366日、休日昼間76日)、小児科輪番制162日(夜間100日、日曜昼間62日)	達成状況 - %
	元年度実績	病院群輪番制434日(夜間359日、休日昼間75日)、小児科輪番制162日(夜間100日、日曜昼間62日)	達成状況 98.2 %
	2年度計画	病院群輪番制437日(夜間365日、休日昼間72日)、小児科輪番制158日(夜間100日、日曜昼間58日)	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
病院群輪番病院数		5	5	5	5	5
小児科救急対応病院輪番群病院		2	2	2	2	2
病院群輪番実施回数		431	426	442	434	437
小児科救急対応病院輪番群病院実施回数		158	159	162	162	158
病院群輪番延受入患者数		4,067	3,874	4,200	3,884	3,900
小児科救急対応病院群輪番延受入患者数		586	475	480	480	480
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
病院群輪番制病院運営事業		18,180,000	18,180,000	18,360,000	18,360,000	18,180,000
小児科救急対応病院群輪番制運営事業		1,968,810	1,968,810	2,022,750	2,022,750	1,968,810
財源内訳	国県支出金	1,312,000	1,312,000	1,348,000	1,348,000	1,312,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	18,836,810	18,836,810	19,034,750	19,034,750	18,837,000
直接事業費総額		20,148,810	20,148,810	20,382,750	20,382,750	20,149,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	14	14	14	14	14
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		266,000	266,000	266,000	266,000	266,000
総事業費計		20,414,810	20,414,810	20,648,750	20,648,750	20,415,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	日数の増加(新元号制度に伴う国民の休日の増加による)				
	元年度予算と2年度予算の比較	休日の減に伴う事業費の減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	小児科救急対応病院群輪番制に関し、小児科勤務医減少傾向の状況のもと、輪番日数の確保が課題。				
市民のニーズ・満足度					
連携事業					
関連事業	休日救急診療委託事業				
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり				
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄		
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業				
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある				
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()				
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている				
有効性	目標達成度	98.2 %		理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入	2			
<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()					

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	輪番日数の確保				
次年度予算への見直し方針	継続して実施する。				
関連部課等との協議状況					
関連部課	市民病院(医師会)				
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)			▼
	医師不足の状況ではあるが、休日夜間の第二次救急医療を確保していくことは必要である。				

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	2			
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()				
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)			▼
	2年度の取り組み方針	継続して実施する。			
	3年度以降の展開方針	継続して実施する。			
部長の確認所見	継続して実施する。				

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 195

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	子育て応援隊活動事業	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-健康づくり推進体制の強化					▼
対象	子育て中の母子(乳幼児とその保護者)					
手段(方法)	地域ごとに子育ての相談に応じる専門職(看護師等)を設置し、訪問活動や相談活動を行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	健全な母子関係を築き、母子及び家庭への適切な支援をすすめることにより育児環境を阻害する要因を早期に発見する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	母子保健法					
その他実施の根拠						
始期・終期	H16 年度 ~ 年度					
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	生後4か月未満児の訪問・面接実施。					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	100%		達成状況	100	%
	30年度実績	100%		達成状況	100	%
	元年度計画	100%		達成状況	-	%
	元年度実績	100%		達成状況	100	%
	2年度計画	100%		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
設置人数(人)		9	9	9	9	9
相談・相談件数(件)		2,825	2,496	2,600	2,377	2,500
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		1,055,475	1,055,749	1,060,000	780,977	1,050,000
財源内訳	国県支出金	718,000	712,000	706,000	609,000	700,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	337,475	343,749	354,000	171,977	350,000
直接事業費総額		1,055,475	1,055,749	1,060,000	780,977	1,050,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	19	19	19	19	19
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		361,000	361,000	361,000	361,000	361,000
総事業費計		1,416,475	1,416,749	1,421,000	1,141,977	1,411,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	増減なし。				
	元年度予算と2年度予算の比較	報償費の減による事業費の減。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	
市民のニーズ・満足度	出産後早期から母子訪問により、母親の育児への不安軽減が図られており、満足度は高い。
連携事業	乳幼児健診、母子訪問指導、予防接種
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="5"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input checked="" type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	生後早期からの母子訪問活動を行い、虐待の早期発見、予防活動を行っている。また、地域の身近な場所で相談ができ、母親の不安軽減が図られている。
次年度予算への見直し方針	継続して実施する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	子育て支援課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	子育て応援隊が高齢化し、現応援隊に代わる人材もいない状況であるため、人材確保に努める。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 継続して実施する。 3年度以降の展開方針 継続して実施する。
部長の確認所見	継続して実施する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 197

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	育児健康支援事業	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心-おもいやりに満ちた福祉社会を築く-子育てしやすい環境をつくる-子育てに対する不安や負担の解消					▼
対象	市民					
手段(方法)	妊婦や児の保護者に対し、安心して育児ができるよう訪問や教室の実施により育児支援を行う。					
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	妊娠期から子育て期にわたり保護者が安心して子育てができる環境づくりを行う。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	母子保健法					
その他実施の根拠	赤穂市産後ケア事業実施要綱					
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績				達成状況	%
	30年度実績	プレママ・プレパパクラス参加者数 36組77人・産後ケア事業 延人数50人			達成状況	100 %
	元年度計画	プレママ・プレパパクラス参加者数 40組80人・産後ケア事業 延人数25人			達成状況	- %
	元年度実績	プレママ・プレパパクラス参加者数 31組60人・産後ケア事業 延人数30人			達成状況	100 %
	2年度計画	プレママ・プレパパクラス参加者数 40組80人・産後ケア事業 延人数40人			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
プレママ・プレパパクラス参加者数			36組77人	40組80人	31組60人	40組80人
産後ケア事業 実人数			10	7	13	20
産後ケア事業 延人数			50	15	30	40
精神精密事後指導教室参加延人数		親子134組270人	親子127組289人	親子130組350人	親子123組300人	親子130組350人
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
		1,484,666	2,363,495	1,910,000	1,648,342	2,430,000
財源内訳	国県支出金		454,000	105,000	105,000	124,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,484,666	1,909,495	1,805,000	1,543,342	2,306,000
直接事業費 総額		1,484,666	2,363,495	1,910,000	1,648,342	2,430,000
人件費:人日数	一般職員:人日数					
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		0	0	0	0	0
総事業費 計		1,484,666	2,363,495	1,910,000	1,648,342	2,430,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	プレママ・プレパパクラス及び産後ケア事業開始に伴う事業費の増				
	元年度予算と2年度予算の比較	産後ケア事業拡充に伴う委託料の増				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	産後ケア事業については、訪問型のみでは対応できないケースがある。
市民のニーズ・満足度	育児相談を行っており、市民に好評である。
連携事業	母子訪問指導・子育て応援隊活動事業・乳幼児健診
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value=""/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	
次年度予算への見直し方針	安心して子育てができるよう育児不安の軽減に努める。
関連部課等との協議状況	
関連部課	子育て支援課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	継続して実施する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 継続して実施する。 3年度以降の展開方針 産後ケア事業の拡充
部長の確認所見	継続実施する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 198

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	母子訪問指導	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-指導・啓発事業の推進					▼
対象	妊娠高血圧症候群・出生を届け出た妊産婦及び新生児等必要と認める者					
手段(方法)	助産師・保健師が訪問し、新生児等の発育・栄養等について指導を行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	妊産婦の健康管理、新生児、未熟児の健全な成長を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	母子保健法					
その他実施の根拠						
始期・終期	H9	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	訪問者数/出生数×100=100%					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	訪問者数259人/出生数306人×100=84.6%			達成状況	84.6 %
	30年度実績	訪問者数260人/出生数286人×100=90.9%			達成状況	90.9 %
	元年度計画	95%			達成状況	- %
	元年度実績	訪問者数294人/出生数267人×100=110.1%			達成状況	110.1 %
	2年度計画	95%			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
妊産婦訪問件数		306	303	310	445	445
新生児訪問件数		233	247	210	322	322
乳幼児訪問件数		129	102	130	168	168
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		268,300	349,302	885,000	759,140	789,000
財源内訳	国県支出金	229,000	236,000	590,000	553,000	526,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	39,300	113,302	295,000	206,140	263,000
直接事業費総額		268,300	349,302	885,000	759,140	789,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	15	15	15		
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		285,000	285,000	285,000	0	0
総事業費計		553,300	634,302	1,170,000	759,140	789,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	訪問内容充実することによる報償費の増加				
	元年度予算と2年度予算の比較	需用費の減による事業費の減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)		
事務事業遂行上の課題		
市民のニーズ・満足度		
連携事業	子育て世代包括支援センター運営事業、子育て応援隊活動事業、予防接種	
関連事業		
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり	
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業	
手段の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある	
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()	
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 5 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input checked="" type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている	
有効性	目標達成度 110 % 理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()	
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)		
事務事業実施による成果と課題	退院後早期に産婦の情報把握をし、訪問指導を実施することにより、育児不安の軽減につながっている。	
次年度予算への見直し方針		
関連部課等との協議状況		
関連部課	子育て支援課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼	
	産後うつ病予防に努められるよう退院後、早期に訪問を行い、必要な支援につなげる。	
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)		
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼	
	2年度の取り組み方針	産後うつ病予防に努められるよう退院後、早期に状況把握及び訪問を行い、必要な支援につなげる。
	3年度以降の展開方針	継続的に実施し、産後うつ病の予防に努める。
部長の確認所見	退院後早期に状況把握及び訪問を行い、必要な支援につなげる。	

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 199

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	乳幼児健診	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-予防活動の充実					▼
対象	4か月児、1歳6か月児。3歳児					
手段(方法)	4か月児、1歳6か月児。3歳児を対象に月1回保健センターにおいて総合健診を行う。					
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	乳幼児の疾病の早期発見・早期治療につなげるとともに育児不安の軽減を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	母子保健法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	健診受診率の向上					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	4か月児97.5%・1歳6か月児96.0%・3歳児97.1%			達成状況	96.6 %
	30年度実績	4か月児96.7%・1歳6か月児97.3%・3歳児95.8%			達成状況	98 %
	元年度計画	各健診受診率98%			達成状況	- %
	元年度実績	4か月児94.9%・1歳6か月児97.5%・3歳児98.7%			達成状況	97 %
	2年度計画	各健診受診率98%			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
4か月児健康診査受診者数	受診者数		260	293	310	260	285
	受診率		97.5%	97.3%	98.0%	94.9%	98.0%
1歳6か月児健康診査受診者数	受診者数		309	282	320	272	285
	受診率		96.0%	98.6%	98.0%	97.5%	98.0%
3歳児健康診査受診者数	受診者数		362	317	350	297	295
	受診率		97.1%	98.1%	98.0%	98.7%	98.0%
直接事業費 単位:円			29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費			3,759,466	3,915,063	3,890,000	3,488,440	4,010,000
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		3,759,466	3,915,063	3,890,000	3,488,440	4,010,000
直接事業費 総額			3,759,466	3,915,063	3,890,000	3,488,440	4,010,000
人件費:人日数	一般職員:人日数		72	72	72	72	72
	技能職員:人日数						
	臨時職員:人日数						
人件費 総額			1,368,000	1,368,000	1,368,000	1,368,000	1,368,000
総事業費 計			5,127,466	5,283,063	5,258,000	4,856,440	5,378,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	健診受診者の増による事業費の増。					
	元年度予算と2年度予算の比較	健診受診者数の見直しによる事業費の増					

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	健診受診率の向上
市民のニーズ・満足度	
連携事業	精神精密事後指導教室、子育て応援隊、むし歯予防対策、あこが食育推進事業、予防接種
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="5"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input checked="" type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="97"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	身体的、精神的フォローすべき児の早期支援を行う。
次年度予算への見直し方針	継続して実施する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	子育て支援課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	引き続き対象児の全数把握に努め、必要な児については、支援を行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 継続して実施する。 3年度以降の展開方針 継続して実施する。
部長の確認所見	継続して実施する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 200

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	むし歯予防対策	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-予防活動の充実					▼
対象	1歳6か月児、2歳児、3歳児					
手段(方法)	対象者毎の各健診とも集団検診で実施。歯科医師による診察、歯科衛生士による歯みがき指導、歯科相談、栄養相談、2歳児にはフッ素塗布を実施。					
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	むし歯の早期発見・早期治療とスクーリングとむし歯予防の知識向上					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	母子保健法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	健診受診率の向上					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	1.6歳児 97.3%、2歳児 100.0%、3歳児 95.8%	達成状況	97.7	%	
	30年度実績	1.6歳児 98.6%、2歳児 96.4%、3歳児 98.1%	達成状況	97.7	%	
	元年度計画	1.6歳児・3歳児健診受診者98%、2歳児90%	達成状況	-	%	
	元年度実績	1.6歳児 97.5%、2歳児 97.0%、3歳児 98.7%	達成状況	97.7	%	
	2年度計画	1.6歳児・2歳児・3歳児健診受診者98%	達成状況	-	%	

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
2歳児歯科健診受診者数(人)		326	319	300	265	330
受診率(%)		100.0%	97.7%	90.0%	97.0%	98.0%
1歳6か月児歯科健診受診者数(人)		321	282	320	272	285
3歳児歯科健診受診者数(人)		365	317	350	297	295
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
1歳6か月児歯科健診		96,000	96,000	96,000	96,000	96,000
2歳児歯科健診		755,098	748,563	743,000	658,577	708,000
3歳児歯科健診		96,000	96,000	96,000	96,000	96,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	947,098	940,563	935,000	850,577	900,000
直接事業費総額		947,098	940,563	935,000	850,577	900,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	50	50	50	50	50
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		950,000	950,000	950,000	950,000	950,000
総事業費計		1,897,098	1,890,563	1,885,000	1,800,577	1,850,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	増減なし				
	元年度予算と2年度予算の比較	健診対象人数の減による実施回数見直しによる委託料の減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題					
市民のニーズ・満足度					
連携事業	乳幼児健診				
関連事業					
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり				
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入				
<input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業					
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入				
<input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある					
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()				
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	5	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input checked="" type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている				
有効性	目標達成度	97.7 %		理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入	1			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()					

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	保健師の問診を充実させることにより、支援が必要な児の早期支援。				
次年度予算への見直し方針	継続して実施する。				
関連部課等との協議状況					
関連部課					
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)			▼
	健診内容のさらなる充実。				

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入				
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()				
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)			▼
	2年度の取り組み方針	継続して実施する。			
	3年度以降の展開方針	継続して実施する。			

部長の確認所見	継続して実施する。				
---------	-----------	--	--	--	--

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 201

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資	<input checked="" type="checkbox"/> 臨時	<input type="checkbox"/> 経常
事務事業名称	健康診査	担当部署	健康福祉部保健センター	
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-予防活動の充実			
対象	20歳以上の市民			
手段(方法)	生活習慣病を予防するため、地区公民館等において、特定健診、がん検診を実施する。 赤穂市医師会に委託し、市内医療機関において女性ががん検診を実施する。			
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	・メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病の発生予防に努める。 ・がんの早期発見・早期治療につなげる			
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務
根拠法令・条例等	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法			
その他実施の根拠				
始期・終期	年度	～	年度	
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	令和5年度に特定健診の実施率(40～74歳 赤穂市国民健康保険被保険者)を60.0%にする。(赤穂市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づく)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	特定健診の実施率(40～74歳 赤穂市国民健康保険被保険者)38.2%		達成状況 91.7 %
	30年度実績	特定健診の実施率(40～74歳 赤穂市国民健康保険被保険者)39.0%		達成状況 97.9 %
	元年度計画	特定健診の実施率(40～74歳 赤穂市国民健康保険被保険者)39.5%		達成状況 - %
	元年度実績	特定健診の実施率(40～74歳 赤穂市国民健康保険被保険者)38.0%		達成状況 96.2 %
	2年度計画	特定健診の実施率(40～74歳 赤穂市国民健康保険被保険者)38.5%		達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)		29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
細事業又は実施内容	目標値(年度)					
基本(特定)健診受診者数(人)		4,790	4,678	4,510	4,667	4,885
胃がん健診受診者数(人)		1,722	1,644	1,900	1,532	1,550
肺がん検診受診者数(人)		4,130	4,196	4,250	4,131	4,200
大腸がん検診受診者数(人)		3,875	3,926	4,000	3,916	4,000
子宮がん健診受診者数(うち無料クーポン)(HPV)		1,822(160)(145)	1,752(136)(115)	1,700(180)(140)	1,927(146)(117)	1,607(152)(115)
乳がん検診受診者数(人)(うち無料クーポン利用)		1,846(85)	1,695(77)	1,800(99)	1,835(67)	1,600(68)
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		86,747,947	84,609,789	90,310,000	87,282,046	92,180,000
財源内訳	国県支出金	2,690,000	3,269,000	3,283,000	2,851,000	3,207,000
	地方債					
	その他	42,111,353	40,830,075	42,264,000	41,222,961	42,262,000
	一般財源	41,946,594	40,510,714	44,763,000	43,208,085	46,711,000
直接事業費総額		86,747,947	84,609,789	90,310,000	87,282,046	92,180,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	250	250	250	250	250
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	10	10	10	10	10
人件費総額		4,817,000	4,818,000	4,819,000	4,819,000	4,819,000
総事業費計		91,564,947	89,427,789	95,129,000	92,101,046	96,999,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	受診者数の増加に伴う事業費の増				
	元年度予算と2年度予算の比較	受診者見込人数の増加に伴う事業費の増				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	
市民のニーズ・満足度	特定保健指導
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 5 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input checked="" type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	受診率向上が課題である。
次年度予算への見直し方針	受診率向上に向け、健診受診推奨に努めるほか、健康無関心層への働きかけを行う。
関連部課等との協議状況	
関連部課	医療介護課
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	受診率向上に向け、健診受診推奨に努めるほか、健康無関心層への働きかけを行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 受診率向上に取り組む。
	3年度以降の展開方針 受診率向上に取り組む。
部長の確認所見	受診率向上に取り組む。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 202

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	成人歯科健診	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-予防活動の充実					▼
対象	40歳以上の市民					
手段(方法)	相生・赤穂市郡歯科医師会に委託し、歯科医師による問診と歯周組織検査を各歯科医院で実施。					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	歯周疾患を早期に発見し、歯科衛生指導を実施することにより、健康の維持増進を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	健康増進法					
その他実施の根拠						
始期・終期	H16 年度 ~ 年度					
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	成人歯科健診受診者の60歳の受診者を10%にする。					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	受診者19人/60歳人口533人×100=3.6%			達成状況	36 %
	30年度実績	受診者28人/60歳人口586人×100=4.8%			達成状況	48 %
	元年度計画	受診率10%			達成状況	- %
	元年度実績	受診者30人/60歳人口612人×100=4.9%			達成状況	4.9 %
	2年度計画	受診率10%			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
受診者数		210	216	200	243	250
受診者数(60歳)		19	28	18	30	35
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		941,188	933,985	930,000	1,072,971	1,110,000
財源内訳	国県支出金	351,000	386,000	427,000	412,000	387,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	590,188	607,985	503,000	660,971	723,000
直接事業費総額		941,188	993,985	930,000	1,072,971	1,110,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	9	9	9	15	15
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	9	9	9		
人件費総額		231,300	232,200	233,100	285,000	285,000
総事業費計		1,172,488	1,226,185	1,163,100	1,357,971	1,395,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	健診受診者増に伴う事業費の増				
	元年度予算と2年度予算の比較	健診受診見込人数増に伴う事業費の増				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	口腔衛生の意識の向上が課題
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	生活習慣病健診
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="49"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	口腔衛生の重要性の周知が必要。
次年度予算への見直し方針	歯科医師会との連携のもと、成人歯科健診の受診率向上に向けてPR強化に努める。
関連部課等との協議状況	
関連部課	医療介護課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	相生・赤穂市郡歯科医師会との連携を行い、事業を実施する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 継続して実施する。
	3年度以降の展開方針 継続して実施する。
部長の確認所見	継続して実施する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 203

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	健康づくり支援事業	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心-保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-指導・啓発事業の推進					▼
対象	市民					
手段(方法)	地域におけるネットワークの強化や相談支援体制の充実を図り、生きることの促進要因を増やす。					
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(わらい)	「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を目指すため、自殺対策を推進する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市自殺対策計画					
その他実施の根拠	.					
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績				達成状況	%
	30年度実績	赤穂市自殺対策計画の策定			達成状況	%
	元年度計画	ゲートキーパー研修受講人数 30人			達成状況	- %
	元年度実績	ゲートキーパー研修受講人数 49人			達成状況	100 %
	2年度計画	ゲートキーパー研修受講人数 30人			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
ゲートキーパー研修受講人数		-	-	30	49	30
「こころの体温計」システムのアクセス件数		-	-	9,000	9,702	9,800
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
		246,972	196,315	380,000	375,793	270,000
財源内訳	国県支出金	122,000	180,000	244,000	209,000	160,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	124,972	16,315	136,000	166,793	110,000
直接事業費総額		246,972	196,315	380,000	375,793	270,000
人件費:人日数	一般職員:人日数		100	20	20	20
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		0	1,900,000	380,000	380,000	380,000
総事業費計		246,972	2,096,315	760,000	755,793	650,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	ゲートキーパー研修の実施及び「こころの体温計」システム運用開始に伴う事業費の増				
	元年度予算と2年度予算の比較	「こころの体温計」システム運用開始に伴う初期費用の減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	
市民のニーズ・満足度	自殺の背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめ等の様々な社会的な要因があるため、誰にでも起こりうる危機である。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考案する事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	社会的な背景等により自殺に追い込まれる危機がある。
次年度予算への見直し方針	継続して実施する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 継続して実施する。

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 2年度の取り組み方針 継続して実施する。 3年度以降の展開方針 継続して実施する。
部長の確認所見	社会的な背景もふまえ、自殺対策を推進すること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 204

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	特定保健指導	担当部署	健康福祉部保健センター
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-指導・啓発事業の推進 ▼		
対象	40歳～74歳の赤穂市国保被保険者で特定健診を受診し、生活習慣改善が必要とされた者		
手段(方法)	特定健診受診者のうち、内臓脂肪症候群の危険の高い者に対し、生活習慣改善指導を行う。		
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)			
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	高齢者の医療の確保に関する法律		
その他実施の根拠			
始期・終期	H20 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	特定健康診査等実施計画で設定する目標(令和元年度57%・2年度59%・3年度61%・4年度63%・5年度65%)		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	特定保健指導実施率46.7%	達成状況 77.8 %
	30年度実績	特定保健指導実施率54.7%	達成状況 99.5 %
	元年度計画	特定保健指導実施率57.0%	達成状況 - %
	元年度実績	特定保健指導実施率51.1%	達成状況 89.6 %
	2年度計画	特定保健指導実施率51%	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
特定保健指導実施率(%)		46.7%	54.7%	57.0%	51.1%	51.0%
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		4,421,960	3,611,539	5,400,000	3,331,891	5,433,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他	4,421,960	3,611,539	5,400,000	3,331,891	5,433,000
	一般財源					
直接事業費総額		4,421,960	3,611,539	5,400,000	3,331,891	5,433,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	30	30	30	30	30
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	2	2	2		
人件費総額		583,400	583,600	583,800	570,000	570,000
総事業費計		5,005,360	4,195,139	5,983,800	3,901,891	6,003,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	対象者数見直しに伴う事業費の減				
	元年度予算と2年度予算の比較	対象者数見直しに伴う事業費の減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	実施率の向上
市民のニーズ・満足度	市民が自らの身体状況を認識し、生活習慣を見直すきっかけとなることから満足度は高い。
連携事業	生活習慣病健診
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="5"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input checked="" type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="89.6 %"/> 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	実施率の向上を目指す。
次年度予算への見直し方針	実施率向上を目指し、実施方法の見直し。
関連部課等との協議状況	特定保健指導実施方法について協議済
関連部課	医療介護課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	実施率向上に努める。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 継続実施する。
	3年度以降の展開方針 継続実施する。
部長の確認所見	利用率の向上に努めること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 205

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資	<input checked="" type="checkbox"/> 臨時	<input type="checkbox"/> 経常
事務事業名称	健康診査費等助成事業	担当部署	健康福祉部保健センター	
総合計画上の位置付け	安心-おもいやりに満ちた福祉社会を築く-子育てしやすい環境をつくる-子育て環境の充実			
対象	市内に住所を有する妊産婦・乳児・新生児			
手段(方法)	親子健康手帳(母子手帳)の申請時に受診券を交付する。(所得制限無し)			
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	妊産婦・新生児の健康診査等の一部を助成し、健康増進を図る。			
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務
根拠法令・条例等	赤穂市妊婦、産婦及び乳児健康診査費補助事業実施要綱・赤穂市妊婦歯科健康診査事業助成実施要綱・赤穂市新生児聴覚検査費助成事業実施要綱			
その他実施の根拠				
始期・終期	H18 年度 ~ 年度 (妊婦H18・産婦H24・乳児H21・妊婦歯科H28・新生児聴覚H28より事業実施)			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	当年度助成件数/4,270件(年度到達目標件数)×100			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	妊婦3,027件・妊婦歯科101件・乳児359件・聴覚検査229件・産婦416件	達成状況	69.1 %
	30年度実績	妊婦3,247件・妊婦歯科103件・乳児305件・聴覚検査252件・産婦512件	達成状況	75.8 %
	元年度計画	妊婦3,410件・妊婦歯科130件・乳児620件・聴覚検査250件・産婦600件	達成状況	- %
	元年度実績	妊婦3,003件・妊婦歯科90件・乳児340件・聴覚検査251件・産婦473件	達成状況	83 %
	2年度計画	妊婦3,300件・妊婦歯科130件・乳児600件・聴覚検査240件・産婦600件	達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
細事業又は実施内容							
妊婦健康診査助成件数			3,027	3,247	3,410	3,300	3,300
妊婦歯科健康診査助成件数			101	103	130	90	130
乳児健康診査助成件数			359	305	620	340	600
新生児聴覚検査助成件数			229	252	250	251	240
産婦健康診査助成件数			416	512	600	473	600
直接事業費	単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
妊婦健診事業費			19,366,604	20,726,013	19,748,000	18,981,600	19,838,000
産婦健診事業費			488,000	636,808	900,000	726,431	945,000
乳児健診事業費			1,004,357	848,362	1,682,000	1,010,851	1,767,000
妊婦歯科健診事業費			303,000	309,000	300,000	300,918	331,000
新生児聴覚検査事業費			685,840	756,000	750,000	758,098	747,000
財源内訳	国県支出金					465,000	450,000
	地方債						
	その他						
	一般財源		21,847,801	23,276,183	23,380,000	21,777,898	23,178,000
直接事業費総額		21,847,801	23,276,183	23,380,000	22,242,898	23,628,000	
人件費:人日数	一般職員:人日数		40	40	40	40	40
	技能職員:人日数						
	臨時職員:人日数		25	25	25	25	25
人件費総額		927,500	930,000	932,500	932,500	932,500	
総事業費計		22,775,301	24,206,183	24,312,500	23,175,398	24,560,500	
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	1件当たりの助成単価及び受診件数(回数)の増による事業費の増					
	元年度予算と2年度予算の比較	受診件数見込増による事業費の増					

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	継続的な財源の確保が必要
市民のニーズ・満足度	妊産婦及び乳児・新生児の疾病の早期発見等と経済的負担軽減を図ることができるため、市民の満足度は高い
連携事業	乳幼児健診、子育て応援隊活動事業
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="83"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	健康診査費用を助成することで子育て家庭の精神的、経済的負担を軽減できた。
次年度予算への見直し方針	1人当たりの受診見込み回数(件数)を精査する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 国の動向を注視しながら、継続実施していく。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 継続実施する。
	3年度以降の展開方針 多胎妊娠等の経済的負担の軽減
部長の確認所見	継続して実施する。

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	申請者が増大する傾向があり、継続的な財源の確保が必要。
市民のニーズ・満足度	子どもを望む夫婦の精神的、経済的負担の軽減が図れるため、満足度は高い。
連携事業	兵庫県特定不妊治療費助成事業
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	特定不妊治療費の助成を継続的に行うことにより、将来の少子化を防ぐことに寄与する。特定不妊治療に伴う精神的、経済的負担を軽減できる。
次年度予算への見直し方針	国の医療保険適用に向けた動きに注視する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	国の医療保険適用に向けた動きに注視する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 継続して実施する。
	3年度以降の展開方針 国の医療保険適用に向けた動きに注視する。
部長の確認所見	継続して実施する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 207

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資	<input checked="" type="checkbox"/> 臨時	<input type="checkbox"/> 経常
事務事業名称	健康管理システム整備事業	担当部署	健康福祉部保健センター	
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-指導・啓発事業の推進			
対象	市民			
手段(方法)	予防接種、母子管理台帳及びがん検診等の健診結果記録をデータ化する。			
手法(該当番号を記入)	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金			
意図(ねらい)	健康情報の一元管理			
実施の必要性(該当番号を記入)	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務			
根拠法令・条例等				
その他実施の根拠				
始期・終期	H26 年度 ~ 年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	専用のシステムにより、予防接種、母子台帳及び健診結果記録を一元管理する。			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	専用のシステムにより、予防接種、母子台帳及び健診結果記録を一元管理した。	達成状況	100 %
	30年度実績	専用のシステムにより、予防接種、母子台帳及び健診結果記録を一元管理した。	達成状況	100 %
	元年度計画	専用のシステムにより、予防接種等の結果記録を一元管理。母子保健情報連携システム改修	達成状況	- %
	元年度実績	専用のシステムにより、予防接種等の結果記録を一元管理。母子保健情報連携システム改修	達成状況	100 %
	2年度計画	健康管理システムのクラウド化	達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
細事業又は実施内容							
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算	
事業費		5,798,840	5,803,332	7,164,000	6,558,316	4,060,000	
財源内訳	国県支出金			1,298,000	794,000		
	地方債						
	その他						
	一般財源	5,798,840	5,803,332	5,866,000	5,764,316	4,060,000	
直接事業費総額		5,798,840	5,803,332	7,164,000	6,558,316	4,060,000	
人件費:人日数	一般職員:人日数	12	12	12	20	15	
	技能職員:人日数						
	臨時職員:人日数						
人件費総額		228,000	228,000	228,000	380,000	285,000	
総事業費計		6,026,840	6,031,332	7,392,000	6,938,316	4,345,000	
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	乳児健診・妊婦健診の中間サーバ副本登録対応(新規)の追加による増					
	元年度予算と2年度予算の比較	母子保健情報連携システム改修費の減による事業費の減					

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	
市民のニーズ・満足度	
連携事業	予防接種、女性がん検診。乳幼児健診
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	予防接種や検診受診状況をシステムで一元管理することにより、問い合わせ等への対応や受診状況等の確認が効果的に実施。
次年度予算への見直し方針	継続して実施する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	子育て支援課
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	継続して実施する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 継続して実施する。 3年度以降の展開方針 継続して実施する。
部長の確認所見	継続して実施する。

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	
市民のニーズ・満足度	任意予防接種に係る費用の経済的負担が軽減されるため、満足度は高い。
連携事業	乳幼児健診、母子訪問指導、子育て応援隊、楽らく健康教室
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="98.7"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	予防接種により疾病予防、医療費の抑制が期待でき、接種費用に係る経済的負担の軽減が図れた。
次年度予算への見直し方針	継続して実施する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	継続して実施する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 国の動向に注視しながら継続実施していく。
	3年度以降の展開方針 継続して実施する。
部長の確認所見	継続して実施する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 537

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	予防接種健康被害障害年金給付事業	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心・保健・医療サービスを充実する-生涯にわたる健康づくりを進める-予防活動の充実					▼
対象	法に基づく予防接種を受けたことにより、健康被害を受けた者					
手段(方法)	障害の程度により、1級から3級まで障害年金を支給する。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	予防接種による健康被害を受けた者に対して救済支給する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	予防接種法					
その他実施の根拠						
始期・終期	S40 年度 ~ 年度					
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	支給率 = 支給額 / 決定額 × 100 = 100%					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	支給額2,976,000円 / 決定額2,976,000円 × 100 = 100%			達成状況	100 %
	30年度実績	支給額2,989,200円 / 決定額2,989,200円 × 100 = 100%			達成状況	100 %
	元年度計画	支給額3,019,200円 / 決定額3,019,200円 × 100 = 100%			達成状況	- %
	元年度実績	支給額3,019,200円 / 決定額3,019,200円 × 100 = 100%			達成状況	100 %
	2年度計画	支給額3,034,800円 / 決定額3,034,800円 × 100 = 100%			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
細事業又は実施内容							
年金受給者数(人)			1	1	1	1	1
年金支給額(円)			2,976,000	2,989,200	3,019,200	3,019,200	3,034,800
直接事業費	単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費			2,976,000	2,989,200	3,019,200	3,019,200	3,034,800
財源内訳	国県支出金		2,232,000	2,231,000	2,264,000	2,264,000	2,276,100
	地方債						
	その他						
	一般財源		744,000	758,200	755,200	755,200	758,700
直接事業費総額			2,976,000	2,989,200	3,019,200	3,019,200	3,034,800
人件費:人日数	一般職員:人日数		4	4	4	4	4
	技能職員:人日数						
	臨時職員:人日数						
人件費総額			76,000	76,000	76,000	76,000	76,000
総事業費計			3,052,000	3,065,200	3,095,200	3,095,200	3,110,800
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	予防接種法施行令の一部を改正する政令による年金支給額の増					
	元年度予算と2年度予算の比較	予防接種法施行令の一部を改正する政令による年金支給額の増					

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	年金受給者の生存確認
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	予防接種事業
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	
次年度予算への見直し方針	法改正の動向を把握したうえで継続実施する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	法改正の動向を把握したうえで継続実施する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 予防接種による健康被害に対して救済給付であり、継続が必要である。 3年度以降の展開方針 予防接種による健康被害に対して救済給付であり、継続が必要である。
部長の確認所見	継続して実施する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 538

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	休日急患診療委託事業	担当部署	健康福祉部保健センター			
総合計画上の位置付け	安心-保健・医療サービスを充実する-安心できる地域医療体制をつくる-地域医療体制の充実					▼
対象	第一次救急医療が必要な市民					
手段(方法)	赤穂市医師会に一般救急及び小児救急の第一次救急診療体制の運営を委託。					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	輪番参加医療機関において、休日の第一次救急医療を実施する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	救急医療対策実施要項(厚生労働省)					
その他実施の根拠	救急医療確保数/休日数×100=100%					
始期・終期	S49	年度	~	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	確保数72日/休日72日×100=100%			達成状況	100 %
	30年度実績	確保数73日/休日73日×100=100%			達成状況	100 %
	元年度計画	確保数76日/休日76日×100=100%			達成状況	- %
	元年度実績	確保数76日/休日76日×100=100%			達成状況	100 %
	2年度計画	確保数72日/休日72日×100=100%			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
参加病院数		25	25	25	25	25
当番日数		72	73	76	76	72
患者数		986	920	970	1,147	1,000
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
休日急患診療委託事業		3,780,000	3,830,000	3,980,000	3,980,000	3,780,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	3,780,000	3,830,000	3,980,000	3,980,000	3,780,000
直接事業費総額		3,780,000	3,830,000	3,980,000	3,980,000	3,780,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	4	4	4	4	18
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	14	14	14	14	0
人件費総額		169,800	171,200	172,600	172,600	342,000
総事業費計		3,949,800	4,001,200	4,152,600	4,152,600	4,122,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	日数の増加(新元号制度に伴う国民の休日の増加による)				
	元年度予算と2年度予算の比較	休日の減による委託料の減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	急患対応のため、安易に利用する人を減らす必要がある。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	西播磨病院群輪番制委託事業
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入
	<input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
手段の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入
	<input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	<input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	休日における急患対応であり、成果は大きい。
次年度予算への見直し方針	継続して実施する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	市民病院
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	現在の実施内容による救急医療体制の確立及び、小児救急医療電話相談の普及啓発の強化に努める。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 継続して実施する。
	3年度以降の展開方針 継続して実施する。
部長の確認所見	継続して実施する。